

ピックアップー大量の礫を用いた埋葬施設ー

今回の調査で見つかった埋葬施設は、特に貴重な発見となりました。^{れきかく}礫^り礫^りと呼ばれる、兵庫県内では類例のないとても珍しいものです。一般的な埋葬施設は、棺を入れた後に土で埋め戻しますが、今回みつかった埋葬施設では、土ではなく大量の礫で埋められていました。埋葬施設の中には、^{わりたけがた}割竹形木棺と呼ばれる、丸太をくり抜いて作られた棺が入れたとみられます。木棺が置かれた場所は、木棺が腐ってしまい、そこに礫が落ち込んだため、凹んでいます。埋葬施設からは、棺内に副葬された鉄製のヤリガンナ（木材の表面を加工するための道具）が出土しました。

埋葬施設の時期は、弥生時代終末期～古墳時代初頭（約 1,800 年前）のものと考えられます。明石平野を一望できる見晴らしのよい場所につくられており、付近を治めた有力者のお墓である可能性があります。

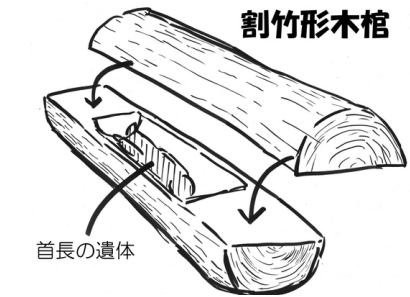


埋葬施設の内部とヤリガンナの出土状況（南から）



埋葬施設と明石平野を望む（西上空から）

埋葬施設 全景（南から）



割竹形木棺の模式図

<https://readyfor.jp/projects/handainonaka/>

announcements/89644 より転載

なかむらぐんしゅうふん

中村群集墳の発掘調査成果



兵庫県教育委員会
（公財）兵庫県まちづくり技術センター埋蔵文化財調査部
〒675-0142
兵庫県加古郡播磨町大中 1-1-1（兵庫県立考古博物館内）
URL:<https://www.hyogo-ctc.or.jp>

はじめに

兵庫県まちづくり技術センターでは、一般国道 2 号（第二神明道路）建設事業に伴い、兵庫県教育委員会からの委託を受け、10 月から中村群集墳の発掘調査を行いました。

今回は現場の安全管理上、現地での説明会を実施することができませんでした。そこで、調査によって得られた成果について紙面にて報告させていただきます。

調査成果

今年度の調査地は、昨年度（2020 年度）調査地点の北西部に当たります。今回の調査では、弥生時代終末期～古墳時代初頭（約 1800 年前）の墓地（埋葬施設）、溝、集石遺構、谷部などが見つかりました。特に弥生時代終末期～古墳時代初頭の墓地が注目されます。このほか、埋もれていた谷部が見つかりました。谷部からは古墳時代後期（6 世紀）の土器が多く出土し、周辺に古墳があったことが想定されます。



中村群集墳の範囲と調査地点

調査成果



調査直前の様子（南東上空から）



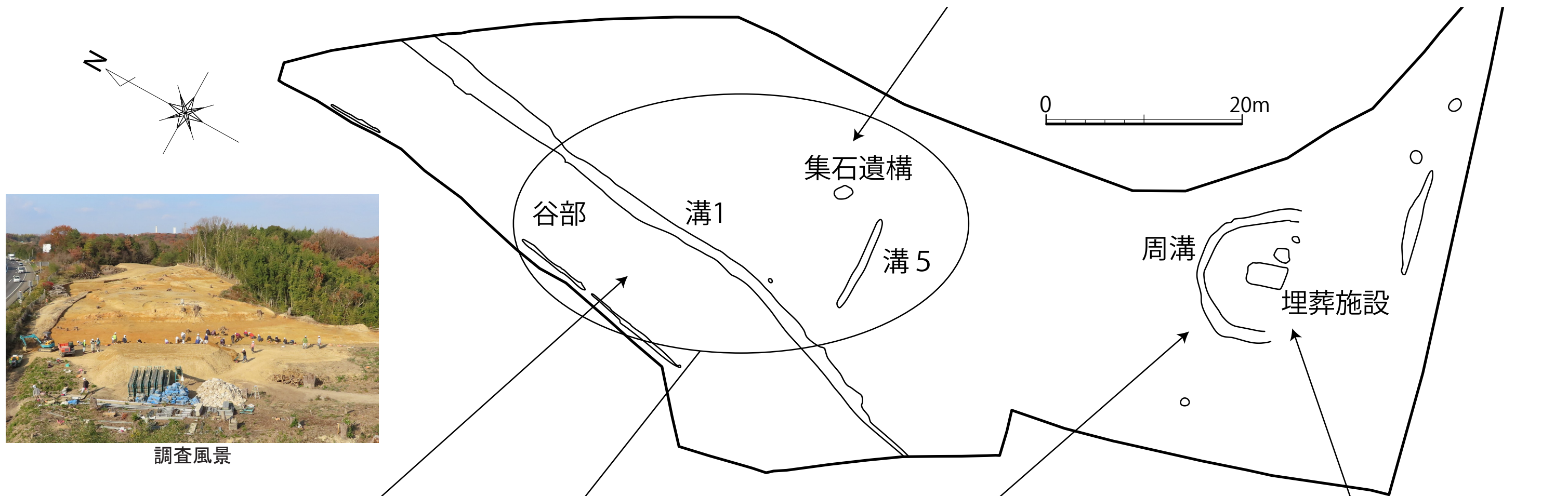
調査区 全景（南東上空から）



集石遺構 全景（南西から）



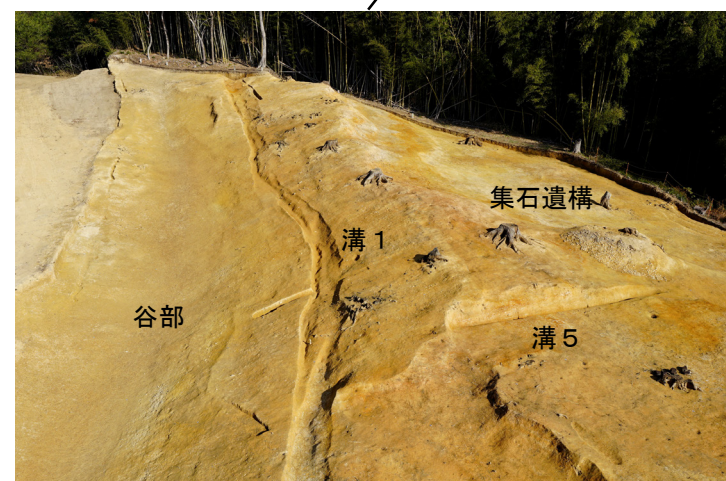
調査地から明石平野を望む（北上空から）



調査風景



谷部（南から）



調査区北側の様相（南上空から）



埋葬施設及び周溝（南上空から）



埋葬施設検出状況